

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成8年2月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第65卷 第5号

ISSN 0525-2997

vol.65 no.5

物性研究

1996 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **63** (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*□*）、ゴシック（**□**）、ギリシャ文字（ α ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

編集部より

1996年度「物性研究」会費納入について

1996年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 66 No.1-6 (1996年4月号~1996年9月号)

Vol. 67 No.1-6 (1996年10月号~1997年3月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、1996年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額9,600円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は1996年3月末までをお願いします。

中止は巻の切れめしかできませんので、1995年度(Vol.65 No.6まで)で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、引き続き送本されますのでご注意ください。

1995年度の購読料が未納の方は、早急にお振込くださいますようお願いいたします。

〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

TEL. (075) 722-3540, 753-7051

FAX. (075) 722-6339

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

編集後記

小生はコンピュータ音痴の一人であるが、最近、必要に迫られて電子メールを使用し始めた。当然のことながら非常に便利であるため、少々networkholic [1] ぎみである。しかし、根が古い人間なので、少し気になることが出てきた。一つは敬語の問題である。ある時、若い人から友達に出すようなメールをいただいた。やや神経質になっていた時だったので、間髪を入れず「先ほどのメールは失礼である。」と言わんばかりの返事を送ってしまった。後悔したことは言うまでもない。小生の瞬間湯沸器的な性格に対してのみならず、電子メールで「御高配を賜りますようお願い申し上げます。」式の文章を書いている自分が何とも滑稽に思えたからである。アメリカではcybertalkにも略語（例えば、in my opinion の代わりにIMO）や特殊な意味を持つ記号が頻繁に使われているそうである [2]。日本語のメールにも敬語を略して、例えば「○○○を乞願。」や「□□□に深謝。」、あるいはこれをもっと崩したようなものが常用されるようになるかも知れない。

もう一つ気になることは、公私混同の問題である。我々の教室では学部学生に専用のワークステーションが供されているが、ある学生に尋ねると従兄弟との連絡に電子メールを使っているとのことである。アカデミック(ac.)専用の通信費は無料(?)だそうであるが、何か釈然としない。タダであるということの他に、電話などに比べクリックひとつで送信されるという手軽さも加わって、この学生に限らず殆どの人が公私混同について痛痒を感じないようである。針小棒大ではあるが、殺傷の実感がわからないハイテク戦争を連想する。network上のエチケットをnetiquetteというそうであるが、電子メディアを使うための倫理観"nethics"についても考えるべきである。 (M. Y.)

[1] networkholic = network × workholic、workholic < work + alcoholic.

[2] NHKラジオ・やさしいビジネス英会話 1995年6月号 P.99

物 性 研 究 第65卷第5号 (平成8年2月号) 1996年2月20日発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒606 京都市百万边交差点上ル東側
TEL(075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
電話 (075)722-3540, 753-7051
FAX (075)722-6339

物 性 研 究 65-5 (2月号) 目 次

- 学習と階層 —ベイズ統計の立場から— ……………伊庭 幸人…… 657

- ベイズ統計と統計物理 (物性研究 1993年9月号) への訂正と追加
……………伊庭 幸人…… 678

- 研究会報告
「複合系Ⅱ要素と全体 —現象論の視座—」…………… 686

- 編集部より
1996年度「物性研究」会費納入について…………… 810

- 編集後記…………… 811

物性研究 65-5 (2月号) 目次

- 学習と階層 —ベイズ統計の立場から— ……………伊庭 幸人…… 657

- ベイズ統計と統計物理 (物性研究 1993年9月号) への訂正と追加
……………伊庭 幸人…… 678

- 研究会報告
「複合系Ⅱ要素と全体 —現象論の視座—」…………… 686

- 編集部より
1996年度「物性研究」会費納入について…………… 810

- 編集後記…………… 811